

令和5年8月
秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和5年8月24日(木) 午後2時00分
閉 会 : 令和5年8月24日(木) 午後3時09分
会 議 場 : 本庁舎3階庁議室

出席委員 : 1番委員 山中 直子
2番委員 大島 隆芳
3番委員 浅海 純一
4番委員 萩原 重範

出席者 : 教育長 前野 浩二
事務局長 笠原 義浩
事務局次長兼学校指導監 板倉 邦弘
事務局次長兼文化財保護課長 堀 宏行
教育総務課長 杉田 泰三
学校教育課長 磯田 欣央
保健給食課長 井上 夏美
教育研究所長 飛川 成正

書 記 : 教育総務課主幹 大池 伸吾
教育総務課主幹 中里 芳隆

1 開会宣言

教 育 長 : 令和5年8月教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、1番委員及び3番委員を指名する。

3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。
(「異議なし」の声あり)
異議なしと認め、公開とする。

4 前回会議の議事録の承認

令和5年7月21日に開会された7月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

5 報告事項

(1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 2点、報告する。

1点目、児童・生徒の活躍についてである。

まず、部活動について、秩父第一中学校の男子弓道部団体・個人、女子弓道部個人、女子ソフトテニス部個人が全国大会へ出場となった。

また、男子卓球部団体、男子ソフトテニス部団体・個人、女子ソフトテニス部団体・個人、相撲部団体、男子弓道部団体、女子弓道部団体が、それぞれ関東大会へ出場した。

全国大会では、上位入賞はできなかったが、限られた時間の中での活動の成果は残せたのではないかと思う。このほか、県大会では、大田中学校が柔道の女子個人で第3位、影森中学校が男子走り幅跳びで第5位に入賞した。

また、秩父第一小学校が出場した交通安全子供自転車大会については、県大会で優勝し、全国大会が8月9日に行われた。団体第2位、個人第3位・8位・9位・21位と目標の優勝には届かなかったが、団体初出場で準優勝、個人第3位と大変素晴らしい成果を収めた。日頃の練習の成果が発揮されるとともに、熱心に指導していただいた秩父警察署員、交通安全指導員、そして校長をはじめとする教職員や保護者、地域の方々の支援に感謝する。

2点目、8月22日に、現在ソフトボールで日本代表として活躍している秩父市出身の鳥山和也選手（岡山県の平林金属所属）と、チームの監督、他4名の選手を講師に、小・中・高校生を対象としたソフトボール教室が開催された。鳥山選手は、秩父第一中学校・秩父農工科学高等学校・城西大学を経て、平林金属に入社し、昨年度は日本代表となりアジアカップ優勝、ワールドカップ第7位になり、内野手として活躍した。

教室は、市内の子ども会育成会の小学生、中学校や秩父農工科学高等学校のソフトボール部など児童・生徒120名程が参加し、バッティングやノックなどのデモンストレーションを参観、技能の高さに驚きながら、有意義な時間を送っていた。小・中学生の中から鳥山選手のような人が育つよう願っている。

1 番 委 員 : 今年の夏も、埼玉県や各市町村などから連日のように熱中症警戒アラートが発令され、危険な暑さが続いている。子どもたちには、夏休み中に色々な体験をしてほしいものだが、この暑さの中、屋外での活動をしばらくという現状もあったかと思う。親子や友達同士で、楽しい夏休みを過ごせていたらと思っている。

3点、報告する。

1点目、最近の子どもたちの様子を保護者から聞いているので報告する。

新型コロナウイルスの感染法上の分類が5類に変わり、初めての夏休みで、各地でも祭りや花火大会などの催しが4年ぶりに規制なしに開催されたなどの報道も聞かれた。秩父地域でも、様々な催し物が行われ、多くの子どもたちが親子で、または友達同士で参加をし、思い出に残る体験をしたようだ。また、家族旅行に行ったり、熱中症に気をつけながらも、地元のスポーツ団体などでスポーツを楽しんだ子どもたちもいたようだ。また、毎年夏休み中に水の事故の報道も聞くので、夏休み前のプール授業の日数などについても話を伺ったところ、「今年は新型コロナウイルスの扱いが緩和されたこともあり、また、晴れの日も多く、昨年よりもたくさんプールに入れてよかった」と保護者から伺った。新型コロナウイルスの影響もあり、プール授業を思うように行えないここ数年であったと思うが、子どもたちを水の事故から守るためにもプール授業は大切かと思う。天候にも左右されやすい授業かと思うが、短い期間でも充実した授業であってほしい。

2点目、7月28日に秩父地区教育委員会連合会研究指定委嘱校委嘱状交付式並びに第2回役員会が、歴史文化伝承館で行われた。今年度の研究委嘱校並びに研究主題は、①秩父市立高篠小学校・主体的な学びを通して、確かな学力を身につける学習指導の工夫、②秩父市立秩父第一中学校・長期記憶につなげる家庭学習の充実を目指して～生活記録と家庭学習帳が一体となった一中ノートの作製・実践を通して～、③長

瀬町立長瀬第一小学校・心豊かな児童を育む新たな学校づくり～統合に向けた学校間の関わりを通じた人権教育の推進～、④小鹿野町立小鹿野中学校・自らの理想に向かって、主体的に学び活動する生徒～キャリア教育の視点でつなぐ教育活動の工夫～、とのことであった。各学校ともに充実した研究ができることを期待したい。

また、役員会の議題は、今年度の視察研修についてであった。今年度の担当は小鹿野町とのことで、担当者からの説明を役員に協議をいただき、決定された。詳しい内容については、後日事務局から連絡があると思われる。

3点目、7月31日、秩父市歴史文化伝承館にて、令和5年度、北部地区(秩父)人権教育実践報告会が行われ、実行委員として参加をした。開会行事の後、人権作文入選者の発表があった。小学生2名、中学生1名の発表であったが、どの児童・生徒もとても素直な言葉で素直な思いをつづっており、大変素晴らしい発表であった。続いて、3つの分科会に分かれて実践報告、その後、参加者同士で小グループに分かれて意見交換などが行われていた。私は、各分科会を回らせていただいた。どの分科会も、様々な立場の方々がそれぞれの視点で活発な意見交換が行われていて、素晴らしい実践報告会であったと思った。

2 番 委 員 : 夏休みも終わり、明日から小・中学校の2学期がスタートするということであるが、心配していた台風についても思ったほど被害も出ずに、無事にお盆が終わって良かったと思う。

少し耳にしたのであるが、7月の最終日曜日に行われている荒川地区の猪鼻祭が、ついに神事だけの開催になったと聞いた。元々猪鼻地区で甘酒まつりを主にやっている人は少なく、横浜や狭山などから人が来ていたというのは聞いていたのであるが、継承するのが困難ということで、非常に残念であり寂しく感じている。

1点、報告する。

6月の教育委員会定例会で後援を承認していただいた、子どものまちプロジェクト主催の「秩父歴史探究～秩父神社編～」が、8月21日に秩父神社で行われた。興味深かったのは、この企画の中心となっているのが、秩父出身の大学生と高校生5名であるということ。参加した20人位の小学生は、神社を探究して新聞を作ったり、みんなでご飯を食べたり、色々な事が体験できたということであった。

また、代表である大学生の井上氏は、企業協賛を自分で集めており、私のところも5千円の協賛をさせていただいた。聞いたところによると、今回は秩父神社の神道についての企画であったが、次回は食文化やジオパークについて、また子どもたちと勉強する時間を設けたいという話であった。

若い方が主体的に子どもたちのことを考えて、秩父の魅力を小さい

うちから子どもたちに気付いてもらうという働きかけを、若い方から発信できたことは非常に嬉しく思うし、またそのような企画があったら応援したいと思っている。

3 番 委 員 : 1点、報告する。

前回の教育委員会定例会を欠席したので、7月の報告となるが、7月12日に行われた埼玉县市町村教育委員会教育委員研究協議会の分科会の内容について報告をする。私が出席したのは、「部活動の地域移行」がテーマの分科会で、かなり興味深く、早急にこれから進めていかななくてはならない内容であった。

まず、県の保健体育課より、「埼玉県地域クラブ活動の整備・充実に向けて」というタイトルで説明があった。この部活動の地域移行については、秩父市でも推進協議会を設定したと聞いているが、まずは休日について、地域クラブを整備して生徒の希望する活動を可能にすることを、一つの方向性として国では考えているということであった。来年の1月に「埼玉県地域クラブ活動の整備・充実に係る指針」が策定されるということで、その作業を県で進めているとの話があった。休日の地域クラブの活動と、平日の学校の部活動が同時進行するような形も考えられるのかなという印象であった。それから実証事業ということで、白岡市と戸田市が国から委託を受けて、モデル事業をしているとの報告があった。

白岡市は、PTAのOBが母体となっている団体に委託をして、令和3年度は白岡市の市内4中学校の5つの運動部、2つの文化部で試行されているとの話であった。令和4年度はそれが12の部活動に拡大している。この白岡市は、委託先がPTAのOBが母体の団体で、素人の集団であるため、運営が行き詰まってしまったとのことである。今年度からは、委託先をプロの集団に変えたとの話であった。白岡市は4中学校に今、50の部活動があるが、最終的には新設の合同クラブ活動を合わせて35部活動に見直す計画が出ているようで、部活動の適正化を目指していくとの話があった。それから負担金については、生徒たちは月額では1,500円、もしくは、1回につき500円、このくらいが上限ではないか。残りは行政等で負担していかないと成立しないのではないかと、白岡市の方は話されていた。

戸田市については、新曽中学校という中学校1校のみが対象で、陸上部・剣道部に限った取組を実施した。戸田市は委託先がリーフラス株式会社という団体であり、調べてみたところ、全国の学校支援を約1,300校行っている団体のようだ。全国に支社があり、埼玉県にも支社がある。こういうところが入らないと地域移行は簡単には進まないのかなという話であった。今年度については、モデル事業を6市に拡大したようで、白岡市、戸田市に加え、蕨市・久喜市・熊谷市・深谷市がモデ

ル事業を行っている。部活動の意義を踏まえながら、少子化、それから教員の負担軽減に取り組んでいかなければならない。

県のホームページを見ると、総合型地域スポーツクラブという言い方で、色々な市にクラブチームがある。秩父市を見ると、「NPO 法人秩父地域スポーツクラブ」と「ちちぶ・ふあいぶるくらぶ」というのが登録されていた。両方のホームページを見ると、秩父地域スポーツクラブはMUSASHIというサッカーのチームで、会費が月謝5,000円、ちちぶ・ふあいぶるくらぶの方は新体操のクラブで、こういうクラブチームをどう取り込んでいくのか、難しいとは思いますが、先行する6市の試行の状況や部活動の状況を踏まえながら、地域との連携を図っていく必要があるのかと感じた。

4 番 委 員 : 3点、報告する。

1点目、児童・生徒の秩父市地域防災訓練参加について申し上げたい。

9月2日に秩父市地域防災訓練が、市内全域、全町会で一斉に実施され、今回も多くの小中学校が会場校となっている。秩父市地域防災計画にも、学校は防災避難場所、防災拠点として指定されており、大変な役割を担っていることになる。防災は全ての地域住民にかかわる問題であるから、ここに児童・生徒を参加させたらどうか。私も数年前に町会役員として何年か担当したことがあるが、その時には小中高校生の参加はゼロであった。

防災訓練などは学校と地域が一体になって取り組むことのできる有効な行事ではないか。学校と地域の相互理解、連携、協働が図れて子どもたちや学校、地域の関係者全員にメリットがある。まさにコミュニティースクールの実践だと思う。

2点目、エアコン使用について一言申し上げたい。

明日8月25日から学校は2学期が始まる。また、9月には小中学校の体育祭が予定されている。当分暑さは収まらないと思うので、熱中症対策には万全を期してほしい。8月22日には、北海道の小学校2年生が体育授業終了直後、熱中症で倒れ死亡したというニュースがあった。学校管理下の事故であり学校の責任は免れない。2学期始業にあたって、エアコンはしっかり点検して稼働できる状態になっているか。

今年の事であるが、ある学校では教室のエアコンがよく作動せずに、子どもたちは暑くて大変だったようだ。通常時でも、かなり教室内が暑くなっている、節電のためなのか使用許可の温度設定を高くしている。幸い熱中症児童は出なかったようであるが、学校では一度決めたことはかたくなに守ろうとするところがある。学校文化の悪いところだ。校舎の1階・2階・3階では教室内の温度にもかなりの違いが

あるし、南側教室・北側教室でも温度差はある。現場に立つ先生方は子どもたちの置かれている状況に応じて適切な対応がとられるべきだが、どの部屋も一律の温度設定のようだ。今やエアコン使用規定を温度計だけで判断するのでは適切ではない。熱中症予防対策として、熱中症指数ともいわれる「暑さ指数」を測る「暑さ指数計」（気温、湿度、ふく射熱）を設置して教室や体育館などの温度管理をしてはどうか。教育委員会にはその辺の検討も含めて、適切なエアコン使用と管理について各学校に周知してほしい。

冬の時期は、新型コロナウイルス感染予防のために換気目的で長時間窓を開けたままで授業をしたので、あまりの寒さに風邪を引き込む児童が出たと聞いている。子どもたちは体育着で先生方は防寒着使用であったというが、先生方には子どもたちの健康管理については、もっと状況に応じて適切な判断・対応をお願いしたい。

3点目、施策評価シートでも重視されている学力向上対策について申し上げたい。

児童・生徒の学力向上については、教員の教科力アップ、授業力の向上があってこそ実現する。教師の力量が向上しなければ、子どもの学力を伸ばすことはできない。また、授業日数、特に授業時数の確保も児童・生徒の学力に直結する。教員の授業力、教科力アップには時間を要するが、授業時数の確保なら直ちにできる。ここ数年コロナ禍で十分な授業時数の確保もできなかった分、従前以上に授業時数の確保に努める責任が学校にはある。学校現場では安易に授業カットが行われていないか、1時間でも2時間でも授業を確保するための工夫努力がなされているか。学校の年間行事予定表などを見ると、授業時数を増やせる余地は十分にあると思う。

文科省から出されている学習指導要領には各教科の授業時数、総授業時数の標準が示されている。この標準を下回らないよう教育委員会には管理職含め教職員に周知徹底してほしい。コロナ禍の時期に小中学校時代を過ぎた者が、将来的に学力面で不利益を受けないように考えてほしい。

（2）事務局からの報告事項

事務局長：1点、秩父市議会9月定例会の予定について報告する。

秩父市議会9月定例会の会期は、来週8月30日から9月21日までの23日間。日程は、8月30日に開会し、9月4日が議案に対する質疑・議案の委員会付託、9月6日が文教福祉委員会、9月11日から13日までの3日間が市政に対する一般質問、9月21日が閉会の予定である。

付議する議案は、決算の認定が10件、和解が1件、工事請負契約の

締結が1件、条例の一部改正が1件、条例の新規制定が1件、補正予算が9件の合計23件が付議される予定となっている。なお、一般質問には15人の議員が登壇する予定である。

教育委員会関係の議案では、1つ目が令和4年度の一般会計決算の認定における教育委員会所管分、2つ目が条例の新規制定として「秩父市立中学校部活動地域移行推進協議会条例」の上程を予定している。これは、中学校の部活動を円滑に地域移行したいため、教育委員会の諮問機関を設置するための条例で、先月の教育委員会定例会で可決いただいた条例案である。3つ目は、一般会計補正予算の中に、教育委員会用メール一斉配信システム再構築・運用業務委託料75万1千円、大滝歴史民俗資料館事務室空調機設置工事費40万5千円などを計上するほか、債務負担行為補正として、小学校の教科書改訂に伴う教師用指導書等購入費（令和6年度分）6,004万8千円、英語指導助手派遣委託料（令和6年度から8年度までの3か年分の債務負担で）1億1千万円を措置する予定である。

学校指導監：3点、報告する。

1点目、市内小・中学校・幼稚園の2学期始業についてである。明日8月25日から市内小・中学校で第2学期がスタートする。夏季休業中は、大きな事故の報告もなく、無事に夏休みを終えることができると思われる。また、久那幼稚園は9月1日から2学期が始業となる。

2点目は、市内小・中学校・幼稚園の体育祭・運動会についてである。中学校及び大田小学校は9月9日、大田小以外の小学校は9月16日、久那幼稚園は10月7日にそれぞれ実施予定である。昨年度までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者のみの参観で行っていたが、今年度は教育委員の皆様をはじめ市議会議員の方々、各学校でお世話になっている地域の皆様にも案内状を送付している。なお、熱中症予防の観点から開会式の時間短縮を図り、紹介や挨拶は割愛する形をとらせていただくことになっている。

3点目、令和6年度埼玉県公立小・中学校等校長候補者選考及び教頭候補者選考試験が7月27日から9月2日まで週休日等を使って行われている。今年度の本市の受験者数は、校長選考8名、教頭選考4名である。

文化財保護課長：1点、報告する。

国指定の重要無形民俗文化財「秩父吉田の龍勢」に関するシンポジウムの開催についてである。

9月23日午後1時から歴史文化伝承館ホールにて、シンポジウム「秩父の祭りと龍勢」が開催される。日本薬科大学と吉田棕神社が主催、吉田龍勢保存会が協賛で開催されるこのシンポジウムは、龍勢で使用する火薬の原料である「硝石」にスポットを当てた内容となっている。

当日は、前半に元埼玉県文化財保護審議委員の朽原嗣雄先生による秩父の祭りについての講演が、後半に日本薬科大学による我が国の硝石製造についての講演が、それぞれ行われる。

特に後半については、秩父地域における火薬製造の可能性の話も含まれる予定となっている。ぜひ足をお運びいただきたい。

教育総務課長 : 1点、報告する。

来年度に予定している、南小学校及び大田中学校の校舎大規模改造工事に向けて、設計業務委託契約を締結した。

まず、南小学校の委託業者は、鶴ヶ島市の株式会社新日本設計で、契約金額は1,262万8千円、委託期間は12月28日までとなっている。次に、大田中学校の委託業者は、さいたま市の株式会社ユニ・アート設計事務所で、契約金額は852万5千円、委託期間は令和6年1月31日までとなっている。工事内容については、いずれの学校も、屋根防水、外壁等の外部改修、木質化を含む内装改修、照明器具のLED化工事、トイレの洋式化工事等を予定している。

また、来年度は、尾田蒔中学校体育館の大規模改造工事も予定しており、現在耐力度調査（建物の老朽化を総合的に評価する調査）を実施中で、その調査が完了次第、設計業務委託を行う予定である。工事内容については、屋根、外壁等の外部改修、内装改修、照明器具のLED化工事、トイレの洋式化工事等を予定している。

学校教育課長 : 1点、報告する。

児童・生徒の通学時の安全確保を目的とした「熊よけ鈴」と「熊よけホイッスル」の配布についてである。

今年度は、市内で熊の目撃が大変多くなっており、7月までの4か月間で例年の2倍となる28回の目撃情報が寄せられている。

そこで、2学期の始まりに合わせて、緊急に小・中学校の全児童・生徒に対し熊よけ鈴と熊よけホイッスルを配布することとなった。音を出して存在を知らせ、熊に逃げてもらおうためのもので、目撃情報の多くなっている熊との遭遇をさけ、被害を防ぐ有効な手段と考えている。

保健給食課長 : 2点、報告する。

1点目、2学期の給食開始についてである。

市内5つの共同調理場では、2学期の学校給食の提供を8月28日から開始する。なお、幼稚園は9月4日からの提供となる。まだまだ暑い日が続いているが、事故の無いよう、十分注意して提供していきたい。

2点目、8月中における児童・生徒及び教職員の感染症感染状況についてである。

昨日8月23日現在、新型コロナウイルス感染症については、小学生6人、中学生16人、教職員2人であった。今月前半は夏休み中ということもあり、保護者からの感染連絡がほとんど無い状況であったが、2

学期が近づくにつれて感染連絡が来始めている。市全体でも感染者が増加傾向にあるので、引き続き注視していきたい。

教育研究所長 : 3点、報告する。

1点目、7月29日に実施した「理科おもしろ実験教室」についてである。

埼玉大学と連携し、秩父第一中学校の理科室を会場として実施した。小学校5、6年生を対象に参加募集をしたところ、73名の応募があり抽選の結果、当選した40名のうち33名の児童が参加し、実施された。

埼玉大学の松岡准教授と研究室の大学生9名の指導のもと、「色を楽しもう」というテーマで、さまざまな色を用いて、色の仕組みを学習しながら、スーパーボールづくり等3つの実験を体験した。子どもたちは、暑い中集中して熱心に実験に取り組んでいた。

2点目、教員を対象として8月8日に開催した「生徒指導育成プログラム研修会」についてである。

ライフスキル認定講師の中村氏による指導のもと、23名の小・中学校教員が参加し、ワークショップ形式での研修会を実施した。望ましい人間関係作りを通して、学級経営や生徒指導に生かすことができる研修会となった。

3点目、ひまわり教室・学校合同体験教室についてである。

秩父市内小中学校 不登校、保健室や相談室登校、適応指導教室（ひまわり教室）通級児童・生徒を対象に、体験活動を通して、参加者相互のコミュニケーションを図ることを目的に、8月2日に体験教室を開催した。

NPO 法人埼玉県キャンプ協会会長、山村学園短期大学非常勤講師の堀口芳嗣氏を講師に、ストーンペイント「河原の小石で自分だけの世界づくり」を行った。参加者は、児童5名、保護者4名、卒業生の高校生ボランティア3名の合計12名だった。午前中の短い時間であったが、参加した児童、保護者の方々がコミュニケーションをとりながら、自分の作品を熱心に制作していた。

（3）補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

6 議案審議

教 育 長 : 議案第14号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

事 務 局 次 長 : 議案第14号「令和4年度秩父市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等について」の提案理由及び説明を述べる。

4 番 委 員 : 1点、子育て教育に関する事で気付いた点を申し上げる。

保護者の不安や家庭内のストレスなど、そういったものを解消しないと、子どもたちの不登校やいじめなどの問題は、抜本的に解消されないだろうと思っている。保護者が精神的にも経済的にも安定した状況の中で、初めて子どもたちも健全に成長していけるものと思う。

そのためには、職の安定が一番大事であると思われるので、保護者に対する就労支援について、ハローワークなどと連携を取りながら、保護者を精神面・経済面共に支えていくということ、まず最初に取り組むべきであると考えている。

親が変わらなければ、子どもは変わらない。親をしっかりと支えることで、不登校など子どもたちの抱える問題の解消に向かっていけば良いと思う。ぜひこれからも重点的にやっていただきたい。

教 育 長 : 親が安定しなければ、子どもは不安定のままということはあると思う。他の部署とも連携しながら、就労支援を含め、家庭内での問題の早期解消等についても、教育相談体制の充実を図りながら進めていきたいと考えている。意見を今後の参考にさせていただきたい。

他に質問または意見等がなければ、この議案を原案どおり可決することではいかがか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第14号は、原案どおり可決した。

7 協議事項

(1) 後援等について

教 育 長 : 後援等について、説明を求める。

教育総務課長 : 別紙のとおり、9件の協議をお願いします。

このうち、5番については、Zoomによるオンライン講座であるが、参加対象者が極めて限られた範囲に設定された事業となっている。また、8番については、6月定例会において不承認とした事業と同様に、開催場所が全て県外であるため秩父地域の子どもたちにとって移動負担が大きく、恩恵も薄い事業となっている。

したがって、事務局としては、この2件の後援については不相当と考えている。それ以外の7件は承認として問題ないと思われる。

教 育 長 : 質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、5番及び8番の後援については不承認、それ以外の後援については承認とすることではいかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、事務局には、今後の処理をお願いします。

(2) 9月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 9月教育委員会定例会について、9月28日午後1時から歴史文化
伝承館5階第1会議室において開催することを御提案させていただく。
(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、9月教育委員会定例会については、9月28日午後1時
から、歴史文化伝承館5階第1会議室にて開催する。

8 その他

各 委 員 : 特になし。

事 務 局 : 2点、事務連絡を申し上げる。

1点目、10月13日の午後1時30分から、秩父地区教育委員会連
合会の管内視察研修会が小鹿野町において開催されるので、都合によ
り出席をお願いする。

2点目、10月20日の午後1時30分から、秩父郡市人権フェステ
ィバルが横瀬町町民会館において開催されるので、都合により出席を
お願いする。

9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。
以上をもって、秩父市教育委員会8月定例会を閉会する。

以上、秩父市教育委員会会議の顛末を記載し、相違ないことを証
するため、署名委員は、ここに署名する。

1 番委員

3 番委員

調 製 者